

## 全国法人会総連合 会長賞

支え合う社会を作る

学校法人関西学園岡山中学校 1年

黒川 紗那

昨年消費税が上がった。毎月のおこづかいから大好きな本を買う時、前より高くなっている。ジュースもお菓子も何もかもだ。正直嫌だと思っていた。何で中学生からも税金を取るのだろうか。自分でお金をかせいでいる訳じゃないのに。私が払った税金が何に使われているのか、気になった。無駄使いされてたら本当に腹が立つと思い、調べた。

私の母は、難病だ。闘病生活はもう十年を越えた。通院はしょっちゅうだし、薬も毎日大量に飲む。そうしないと普通に日常生活を送れないから仕方がない。病院や薬局で母は緑の証書を出す。それは特定医療費指定難病受給者証というそうで、母がたくさんの通院や薬でかかる費用を、税金から補助してもらうものだ。「これがなかったら私達、今頃ご飯も食べれない生活をしていたのよ。皆に支えられて生きれている事に、感謝しないとね。」と母は真剣な顔で言った。母はなるべく病気が悪くならない様にと、毎日仕事に行きながらも一生懸命体調管理をしている。が、私が税について調べている今日も、関節炎の悪化で病院へかけこんでいる。母はぎりぎりまで無理をするので、病院へ行く時はたいてい悪化している。早く良くなってほしい。今は私の出来る事をして母を待つことにした。

今日こうして母が安心して治療を受けられるのも、皆から納められた大切な税金のおかげです。私の大好きな、大切な母を助けてくれて、ありがとうございます。私は心から感謝し、今の幸せな生活をうれしく思った。

日々の生活の中のあらゆる場面で税は活用されている。一番身近なのは学校教育だろう。社会で、世界には学校に通う事すらできない子もたくさんいることを学んだ。日本は税金のおかげでお金持ちもそうでない家も皆学校に行き勉強したり友達と過ごしたりできる。当たり前だと思っていたことも、本当は皆の支えから成り立っている事に私達は感謝しなければならない。

私は税は「支え合う社会を作る」精神から出来ている仕組みだと思う。私の払った税金も、どこかで誰かの大切な人のために使われているのだ。今はまだ消費税ぐらいだけど、将来社会人になって働きだしたら、納税という国民の三大義務をきちんと果たし、今まで助けてもらっている分をお返ししたいと思う。そう思うと、嫌だと思っていた気持ちがすーっとどこかへ行った。世の中にはまだまだ知らない税金の使い道がある。それに気づく度に私達は税金の重要性を考え、支え合う社会に感謝することを忘れてはいけない。